

授業科目名	インターンシップ	単位数	2単位
担当教員名	服部由季夫	担当形態	単独
実務内容 (実務家教員の場合)			
<p>「学位授与の方針」との関係</p> <p>DP4.個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自立的な課題探究能力を身につけ実践することができる(実践力) DP5.共生社会創造の目的のために、様々な分野について絶えず学び続ける態度を持つことができる(継続力)</p>			
<p>授業のテーマ及び到達目標</p> <p>(1) インターンシップを通して、共生について考えることができる。 (2) インターンシップ活動を通して、労働意欲を高めることができる。 (3) 自己の職業適性や将来設計について考えることができる。 (4) 課題探求能力・問題解決能力を高めることができる。</p>			
<p>授業の概要</p> <p>本講義では「学生が在学中に自らの専攻、将来のキャリアに関連した就業体験を行うこと」と捉え、人材育成の1つの形態として位置づけられている。本学では、「仕事の中にもこそ課題探求能力・問題解決能力の育成が秘められている」という考えでインターンシップを推奨している。本講義では、インターンシップを通して共生について考え、将来のキャリアに関連した就業体験を行うことでキャリアに必要な力をつけることを目指す。</p>			
<p>授業計画</p> <p>第1回:インターンシップとは 第2回:インターンシップの意義 第3回:インターンシップとボランティア 第4回:インターンシップと共生 第5回:インターンシップのあり方(1):大学および大学生 第6回:インターンシップのあり方(2):企業 第7回:インターンシップの留意点(1):大学側 第8回:インターンシップの留意点(2):企業側 第9回:インターンシップ先の選定 第10回:インターンシップの申請 第11回:インターンシップの活動について 第12回:インターンシップの記録 第13回:インターンシップの振り返り 第14回:インターンシップと今後の活動 第15回:まとめ</p>			
<p>スクーリングでの学修</p>			
<p>テキスト</p> <p>特になし</p>			
<p>参考書・参考資料等</p> <p>文部科学省・厚生労働省・経済産業省『インターンシップの推進に当たっての基本的考え方』 http://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/detail/_icsFiles/afieldfile/2015/12/15/1365292_01.pdf</p>			
<p>学生に対する評価</p> <p>活動報告書をもって総合的に評価する</p>			